

# 海の声

地域の皆様と保護者の皆様と  
子どもたちとわたしたち  
御所浦小でおこすステキな奇跡

~VOICE OF OCEAN~

御所浦小学校  
学校通信  
令和4年1月27日  
文責・木村純一

# 45

## 正しく畏れる

~新型コロナウイルス感染症で心が傷つく人を増やさない

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に拍車がかかっています。連日の過去最多の報道は目を覆うばかりです。

この拡がりを受けて、ここ御所浦でも感染が拡大することが十分考えられる状況となりました。職場で働く同僚の家族が陽性であった、同僚が陽性となれば、私は濃厚接触者となり、さらに私が検査で陽性となれば、うちの子は濃厚接触者となる、というような状況が、みなさまの近くでも起きている状況ではないかと思えます。ご心配は尽きないと思いますが、感染力の強さから、コロナ対策を十分とっていても感染してしまう状況です。

コロナ感染症に係る出席等の判断については、右に記載していますが、詳しくは昨日お配りしたプリントを参照ください。

私たちが学校で留意していることは、濃厚接触の対象となる行動をしないということです。濃厚接触者でなければ陰性であれば翌日から登校が可能ですが、濃厚接触者となれば陰性であっても10日以上登校を控えなければいけません。濃厚接触とただの接触では子どもや保護者の皆様の精神的負担、学力の保障等で大きなリスクの差があります。そのため、濃厚接触の対象とならないよう、正しいマスクの着用等、下に記した行動を徹底していますので、声かけをよろしくお願ひします。

- 正しいマスクの着用(家を出る時はマスク)
- 鼻出し、あごマスクは、感染予防対策なしとなり、濃厚接触者になる可能性があります。
- こまめな手洗い
- 手指消毒
- 3密回避(身体的距離1m、レベル3以上2m)
- 換気
- 毎朝の健康観察カード提出
- 登校前及び登校後の検温

また私たちが心配するのは、コロナ感染症にかかることで、地域社会における人間関係等に悪影響が出ることです。

御所浦小学校は、十分な感染症対策を行い、天草市が示す一定の判断基準の下に、さまざまな措置をとっています。前述の児童の登校についてもそうですが、休校や学級閉鎖の判断も同じです。それはきっとさまざまな事業所等でも同じだと思います。濃厚接触者を出さない取組です。それぞれに努力をされています。しかしながら、差別発言やウワサなど、『コロナ災いの恐れ』が人を思わぬ言動に走らせることも事

### 【児童の登校について】

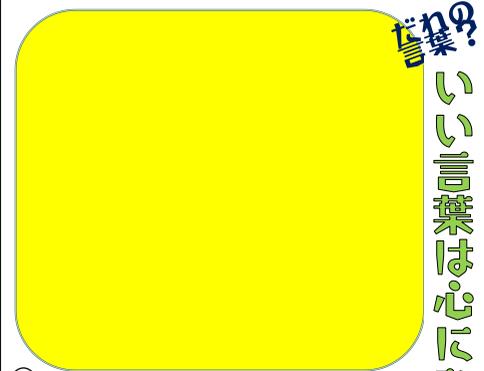
次の場合は、児童は、出席停止扱いとなります。

- ①児童の感染が判明した場合
- ②児童が感染者の濃厚接触者に特定された場合
- ③児童がPCR検査等を受けることが決定した場合
- ④児童に発熱等の風邪症状や息苦しさ、倦怠感、味覚、嗅覚障がい等の症状がみられる場合(但し、医療機関で児童生徒等が風邪という診断であれば、登校可。)
- ⑤熊本県リスクレベルのレベル2以上に該当する際、同居の家族に発熱等の風邪症状がみられる場合(但し、医療機関で同居の家族の症状が風邪という診断であれば、登校可。)
- ⑥児童や保護者が、登校について不安(介護職、医療職等仕事従事上の不安、感染する不安、本人・同居する家族に感染の疑いがあり他人に感染させる恐れによる不安等)で、保護者が休ませたい場合。

実です。人が未知の恐怖に対し畏怖の念を抱くことはやむを得ないことだとも思います。発想の視点を変えれば、コロナが私たちに、正しい人権感覚を身につけているか確認するチャンスを与えてくれたと考え、コロナ禍であっても正しい判断と行動を子どもたちに示せる大人でありたいと思います。

私は御所浦が大好きです。御所浦小に来て2年、コロナ禍でさまざまな町の行事やお酒を酌み交わす機会もなくなりましたが、私はこの島の皆様の優しさに包まれて、とても充実した日々を送らせていただいています。だからこそ、コロナ禍だからこそ、私はこの御所浦のよさを大切にしたいと願っています。何があっても優しく包み込む御所浦であってほしいと思っています。

また上の①～⑥の出席停止は、個人情報保護の配慮から必要な場合は「家庭の事情」と説明しますのでご理解をお願いします。



言葉は心に響く  
私たちがコロナ禍の恐れの中、大切なものを失ってはいけません。先人たちが築いてきた宝です。